熱中症対策研修会



熱中症の事例と予防と対策

神奈川産業保健総合支援センター

副所長 高橋 明裕







2023年の熱中症の災害

全国で熱中症による死傷者(死亡・休業4日以上)は、827人(前年比266人・47%増)

全体の約4割が建設業と製造業で発生

熱中症による死亡者数は30人(前年比10人・50%増)

建設業(14人)や警備業(6人)で多く発生



災害事例

「休ませて様子を見ていたところ容態が急変した」





イラスト: 働く人の今すぐ使える熱中症ガイドより

災害事例

「倒れているところを発見された」





イラスト: 働く人の今すぐ使える熱中症ガイドより

4. 「命を救う行動」 現場で作業員が倒れたときの 〇 対応



▶ 作業員の様子がおかしいと思ったら...









すぐに119番▶水をかけ、全身を『急速冷却』!

◇「水かけ」で急速冷却(アスリートの世界では一般的)





【スポーツ活動中の熱中症予防】ch.5 身体冷却法 -応急処置編-「水道水散布法」2:46~参照

https://www.youtube.com/watch?v=g2FZVArhb48&t=6s



水分補給について

- ★水分は摂ってはいたものの緑茶、コーヒーなどを 飲んでいた
- ★前日、アルコールを飲みすぎていた
- ★朝食を摂っていない



水分補給について

利尿作用がある飲み物 紅茶 コーヒー 緑茶など

夏場は暑くて食欲がない 朝食を摂らない





イラスト: 働く人の今すぐ使える熱中症ガイドより

サッカーの試合

★小学生の子どもたちの試合 WBGTが25℃以上の場合は「飲水タイム」または「クーリングブレイク」 28℃以上では「クーリングブレイク」を行います。



サッカーの試合

★飲水タイム 1分程度
ライン上で、ラインの外に置かれているボトルをとるか、チーム関係者からボトルを受け取る
★クーリングブレイク」 90秒~3分
日陰にあるベンチ、テント、更衣室など決められたところで、必ず全員集まる



暑さに慣れる

暑さに慣れる▶早く汗が出る▶体温上昇STOP





人間は暑さに、多少ですが、慣れることができます。これを暑熱順化といいます。 暑熱順化により、早く汗が出るようになり、体温の上昇を食い止められるようになります。 暑くなる前に身体を熱中症対応モードにして、暑さに強い身体を作りましょう。

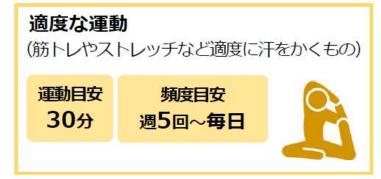
暑熱順化トレーニング

日常生活の中で無理のない範囲で汗をかくようにし、数日から2週間ほど続けて完了











数日休むと、暑熱順化効果は『ゼロ』になる



特に気をつける必要がある人

入職したての人

長期休暇あけの人



作業初日は 身体への負担が 大きい



たとえ数日間でも 暑い作業から離れると 慣れの効果はゼロに

まとめ

暑熱順化は、 暑くなる前から始める 熱中症予防対策



数日から2週間程度で 身体を熱中症対応モードにできるが 長期休暇で効果はゼロになるので要注意

ご清聴ありがとうございました

相談聞く ゾウ~!



★産業保健関係者からの専門的なご相談は

神奈川産業保健総合支援センターまで

045-410-1160